

# 宮城野

MIYAGINO

## 《自然災害に負けない態勢を目指して!!!》

東洋製罐株式会社 仙台工場 防災管理者 風間 明広

当社にとって一昨年は、大阪北部や北海道胆振東部における大規模地震、西日本での豪雨災害、また、大型台風通過による豪雨災害と、当社数事業所に於いて、数々の自然災害に見舞われました。幸いにも従業員及びそのご家族において人的被害はありませんでしたが、自然災害からの被害を最小限に抑える為には、初動が大切で有る事を再認識しました。

当事業所は、昭和53年の宮城県沖地震（宮城野区幸町）、平成23年の東日本大震災（宮城野区港）と、二度の大きな災害に見舞われ、いずれも甚大な被害を受けました。復旧・復興に並々ならぬ努力によって困難を乗り越えいまの事業所があります。そのことが、当事業所で働く全ての人の防災意識が高く、防火・防災活動の真剣な取り組み姿勢を築かせたのだと思っております。当事業所へ赴任してきた当初は、私自身に防災意識がここまで高かったかと問われると、そうではありませんでした。今考えるとお恥ずかしい話です。だからこそ、今は自信を持って、当社全事業所中でトップクラスの防災活動ができていますと言えます。しかしながら、世間に比べて、まだまだ防災活動のスキル・技術が高いとは言えません。防災組織関係者のみだけでなく、誰でもそれぞれの組織の役割を理解し、いつ何時に有事が起こるか解らない状況下で、各々が組織の役割を担う行動ができなければならない。引き続き、防災活動を充実させ、災害発生時の被害を最小限に抑

えられるように活動していきたいと思えます。

さて、当事業所の防火・防災活動は、年間の防火・防災に係る消防計画を作成し、計画に準じて活動を実施しています。

随時、各種講習会受講（防火管理者新規講習・再講習、防災管理者新規講習・再講習、自衛消防業務新規講習・再講習、普通救命講習）することで、防災組織の充実を図っております。

また、総合防火・防災避難訓練、防災訓練（各1回/年）を実施することで、有事の際に備え、通報連絡、火災発生初期消火、避難誘導・避難経路の確認等を実践することで、誰でもが迅速に対応できるようにしています。消火訓練（消火器、屋内消火栓）については、全従業員対象に実施しており、毎年開催している消防技術研修会でその成果を発揮しています。従業員の積極的な参画が重要であり、一人一人の意識が大切です。防災活動に終わりはありません。完璧な活動はあり得ません。個々の力を集結して、有事の際は的確な対応が迅速に、また慌てずできるようにしていきたいと思えます。

最後に、冒頭に述べましたが、今後は、1事業所だけでの対応では無く、他事業所での有事の際にでも、災害被災経験者による支援を行い、迅速な指示・対応が出来るように、全社挙げて防災活動できるようにしていければと思えます。

### 【消防技術研修会】



### 【消火器・消火栓訓練】



### 【総合防火・防災訓練】



防災センター



場外避難